



竹田 英司

年明け恒例のグリーンアリーナ大会が、社会情勢により急ぎよ中止された。無念ではあるものの、西知恕選手のお披露目から早一年か…と感慨深い。内定選手を皆さまに紹介できる機会がなくなってしまったので、この場をお借りしたい。

新潟県出身の新井雄大選手は日本代表候補で、小野寺太志選手とともに東京五輪に出場する可能性がある



真新しいユニホームに袖を通した左から平井、新井、坂下、西村の各選手



新人4人をよろしく

る。地元で行きつけの飲食店が山本将平主将の親戚だそうで、「JTの山本って選手知ってる？」と聞かれて「知りません」と堂々と答えたらいい。その大物ぶりが伝わってくる。坂下純也選手は神奈川県出身で、中学高校と片道2時間かけて通学した根性の持ち主だ。「僕には(新井)雄大のような素質はありませんが、バレーが大好きで指導者や仲間にも恵まれて憧れのVリーガーになれました」と語る謙虚さも併せ持つ。

西村信選手は山口県出身で、同郷の私はひそかにうれしく思っている。よくぞこの小さな体で、と驚くほどの跳躍力を目の当たりにして、私は「山口が生んだJTの牛若丸」と勝手に呼んでいる。

最後は福岡県出身の平井海成選手。筋肉質なその肉体は、西村選手が牛若丸ならまるで弁慶のようだ。ブロックに自信があるとのことなので、近い将来は「JTの壁」として君臨してほしい。

今年は4人も新入部選手を迎えたので、私は支給品を仕分けることにした。各選手の遠征バッグにユニホームやジャージを詰めながら、「先輩にかわいがってもらえよ」などと入学式前の母の気分だった。新たな「息子」たちをどうぞよろしく。

(JT広島マネジャー)